

## ■小牧市の地域公共交通が目指す姿（基本方針）と目標

### 1) 小牧市の地域公共交通が目指す姿（基本方針）

小牧市の地域公共交通が目指す姿（基本方針）は、持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生に関する基本的な方針を掲げた「小牧市地域公共交通網形成計画」の基本理念を継承しつつ、網形成計画策定以降の社会情勢や地域特性、市民等のニーズ等に基づき整理した公共交通の課題の視点を踏まえたものとします。また、「小牧市まちづくり推進計画」の都市ビジョン及び「小牧市都市計画マスタープラン」に示された将来都市像などから小牧市が目指す地域公共交通の未来をイメージすることにより、小牧市の地域公共交通が目指す姿を設定しました。

#### <小牧市の地域公共交通が目指す姿（基本方針）>

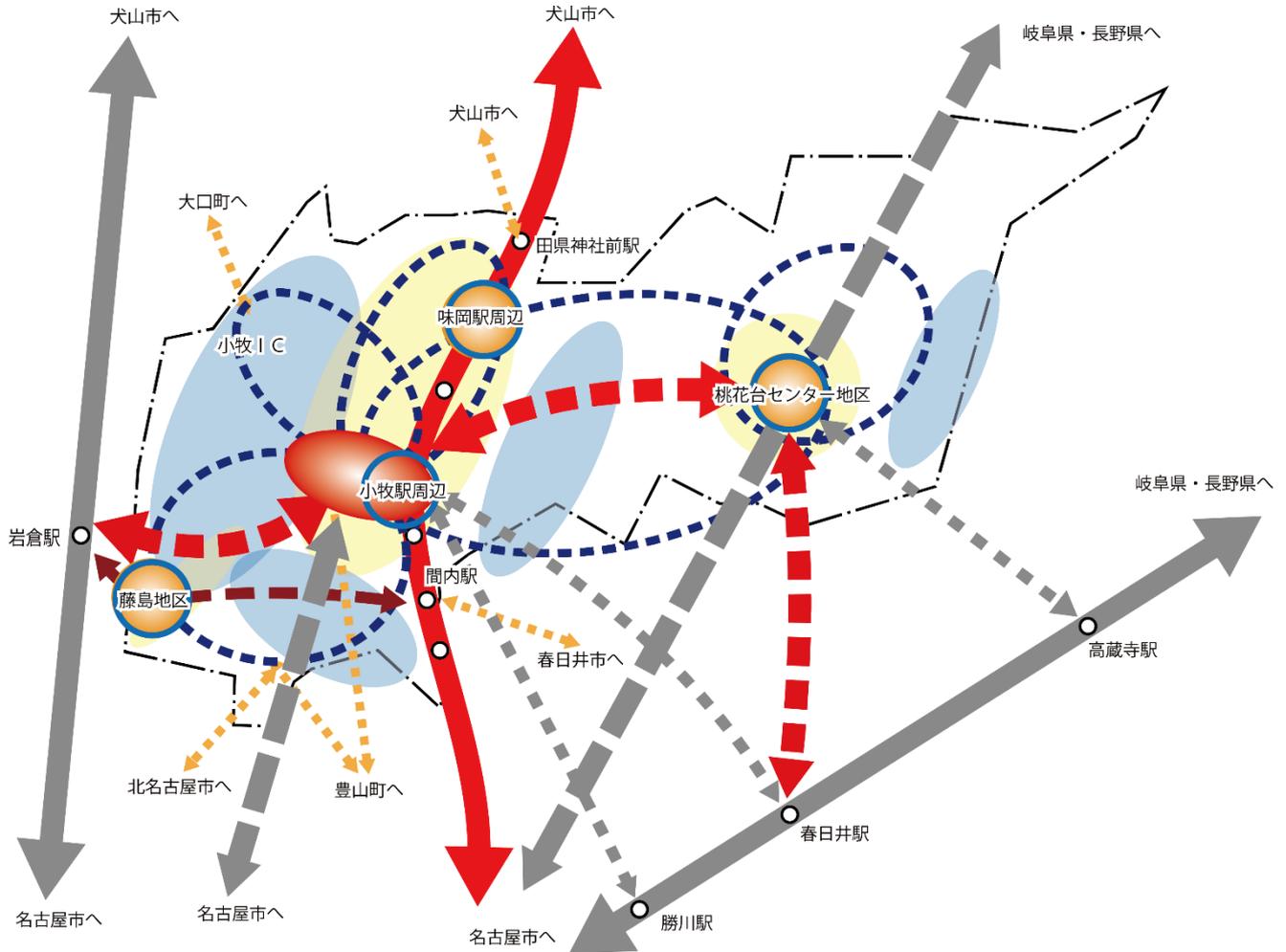
#### 「地域の活力と交流を育み、安心・便利な暮らしを支える持続可能な公共交通」

- 市内外への移動がスムーズにでき、経済が発展するとともに、魅力ある活発な都市となる未来
- 過度に自動車に頼ることなく、安心して生き生きと暮らすことができる未来
- 通勤、通学などの移動に不安がなく、安心して働き、学び、子育てができる未来
- 新しい技術の活用により、便利で快適に生活することができる未来

## 2) 目指す地域公共交通ネットワーク

小牧市の地域公共交通ネットワークを構成する鉄道、各種バス及びタクシーの役割を整理し、目指す地域公共交通ネットワークを示します。

図 小牧市の公共交通ネットワークイメージ



-  中心拠点 : 小牧駅周辺から市役所・小牧山周辺の一带
-  地域拠点 : 味岡駅周辺、桃花台センター地区、藤島地区
-  交通結節点 : 各拠点内の主要駅及び主要バス停を交通結節点と設定
-  住居系市街地ゾーン
-  工業系市街地ゾーン

- |   |                       |  |                |
|---|-----------------------|--|----------------|
|  | 南北公共交通軸 (鉄道)          |  | 都市間連絡路線 (鉄道)   |
|  | 東西公共交通軸 (バス)          |  | 都市間連絡路線 (高速バス) |
|  | 東西公共交通軸 (地域間幹線系統補助路線) |  | 都市間連絡路線 (バス)   |
|   |                       |  | 生活交通路線 (バス)    |
|   |                       |  | 隣接市町コミュニティバス   |

表 市内公共交通の位置づけと役割

分類	役割	サービス確保の考え方	該当路線
南北公共交通軸	<ul style="list-style-type: none"> <li>小牧市の公共交通の骨格を形成する南北軸として、小牧駅周辺を中心拠点と味岡駅周辺の地域拠点との拠点間や、名古屋市・犬山市方向の都市間移動ニーズへの対応を担う路線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用実態や利用者ニーズを踏まえ、都市内・都市間を連絡する交通需要に応じたサービス水準を確保</li> <li>交通事業者が主体的に運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 名鉄小牧線</li> </ul>
東西公共交通軸	<ul style="list-style-type: none"> <li>小牧市の公共交通の骨格を形成する東西軸として、小牧駅周辺を中心拠点と桃花台センター地区及び藤島地区の地域拠点との拠点間や、春日井市・岩倉市方向の都市間移動ニーズへの対応を担う路線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用実態や利用者ニーズを踏まえ、都市内・都市間を連絡する交通需要に応じたサービス水準を確保</li> <li>交通事業者が主体的に運行（必要に応じて行政が支援）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近距離高速バス（桃花台線）（桃花台～元町三丁目）</li> <li>● 名鉄バス（間内岩倉線、岩倉線、春日井・桃花台線）</li> <li>● ピーチバス（あおい交通）</li> </ul>
都市間連絡路線	<ul style="list-style-type: none"> <li>南北・東西の公共交通軸と一体となり、名古屋市、春日井市等の都市間移動ニーズへの対応を担う路線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用実態や利用者ニーズを踏まえ、都市間を連絡する交通需要に応じたサービス水準を確保</li> <li>交通事業者が主体的に運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中央道高速バス（中央道桃花台バス停発着路線）</li> <li>● 近距離高速バス（桃花台線、中央道桃花台バス停発着路線）</li> <li>● 名鉄バス（春日井市内線、小牧・勝川線、桃花台線）</li> <li>● 桃花台バス（あおい交通）</li> </ul>
生活交通路線	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住エリアから中心拠点・地域拠点や市内公共施設への移動ニーズへの対応を担う路線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用実態や利用者ニーズを踏まえ、まちづくりと連携し、必要性に応じたサービス水準を確保</li> <li>行政が主体的に運行（運行は交通事業者へ委託）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● こまき巡回バス「こまくる」</li> </ul>
隣接市町コミュニティバス	<ul style="list-style-type: none"> <li>小牧市内を運行する公共交通と連携し、隣接市町間の移動ニーズへの対応を担う路線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣接市町間を連絡する交通需要に応じたサービスを確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● とよやまタウンバス（豊山町）</li> <li>● わん丸君バス（犬山市）</li> <li>● コミュニティバス（大口町）</li> <li>● きたバス（北名古屋市）</li> <li>● 北部オンデマンドバス（春日井市）</li> </ul>
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の移動ニーズへ柔軟に対応し、鉄道やバスを補完するとともに、機動性を活かし、緊急の移動ニーズへの対応を担う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の移動ニーズに柔軟に対応できるサービス水準を確保</li> <li>交通事業者が主体的に運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● あおい交通</li> <li>● 名鉄西部交通</li> <li>● 尾張小牧タクシー</li> <li>● まるはタクシー</li> </ul>

※対象とする交通手段のうち間内岩倉線は、地域住民の鉄道駅への連絡線として必要不可欠であり、地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）により運行を確保・維持する。

### 3) 目標及び目標を達成するために実施する施策(案)の設定

先に掲げた小牧市の地域公共交通が目指す姿の実現に向けて、目標と目標を達成するために実施する施策(案)を設定します。

#### 小牧市における公共交通の課題

社会情勢から見る公共交通の課題
<b>課題1-①</b> 人口減少や高齢化の進展 ・公共交通の経営面を支える通学・通勤による公共交通利用の減少 ・日常生活を維持できる新たな交通サービスの導入検討が必要
<b>課題1-②</b> ライフスタイル等の変化による公共交通利用の変化 ・コロナ禍を受けて変化したライフスタイル等の変化への対応が必要
<b>課題1-③</b> 地域公共交通を担う運転手の不足 ・人材不足を補う新たな交通サービスの導入検討が必要
<b>課題1-④</b> 環境に配慮した移動の促進 ・次世代自動車の普及など移動の脱炭素化の推進が必要

現計画(網形成計画)の評価からの課題
<b>課題2-①</b> 活力あるまちづくりを支える交通体系の構築 ・乗継ぎをより円滑にするためのバス停の集約化などの対策が必要 ・コンパクトなまちづくりとそれをつなぐ持続可能な交通ネットワークの構築が必要
<b>課題2-②</b> 持続可能な交通体系の構築 ・通勤や通学者が公共交通を利用するための方策の検討が必要 ・収支率を改善するための対策や公共交通の再整備が必要 ・自転車等駐車場の整備・維持が必要
<b>課題2-③</b> 地域を支える交通体系の構築 ・公共交通徒歩圏域人口カバー率の低下を改善する対策が必要 ・誰もが利用しやすい交通体系の構築が必要
<b>課題2-④</b> 交流を促す交通体系の構築 ・名鉄小牧線から名古屋駅へのアクセス性の向上が必要 ・周辺都市と連携した交通体系の構築が必要 ・観光需要に対応した交通サービスの提供が必要

市民・利用者等のニーズ調査からの課題
<b>課題3-①</b> 広域移動ニーズの高まり ・鉄道駅へのアクセスにつながる公共交通の確保が必要 ・名古屋市等の市町村を跨ぐ地域間を移動する公共交通の確保が必要
<b>課題3-②</b> 多様な交通ニーズと公共交通事業者を取り巻く現状 ・多様化する公共交通ニーズへの対応が必要 ・経済性や事業性、利用状況に応じた適切な交通サービスの提供が必要

#### <小牧市の地域公共交通が目指す姿(基本方針)>

「地域の活力と交流を育み、安心・便利な暮らしを支える持続可能な公共交通」

目標	目標を達成するために実施する施策(案)
1. 市内移動を支える交通体系の構築 (課題1-①、2-①、2-③、3-①、3-②に対応)	・地域の特性に応じた中心拠点及び地域拠点へのアクセス利便性の向上 ・主要施設(鉄道駅・市民病院等利用者の多い公共施設)へのアクセス利便性の向上
2. 広域的な移動を支える交通体系の構築(維持) (課題1-①、2-①、2-④、3-①、3-②に対応)	・南北公共交通軸(鉄道)と東西公共交通軸(バス)の構築(維持) ・隣接市町のコミュニティバスとの連携
3. 集約型市街地形成を支援する交通体系の構築 (課題1-①、2-①、2-④に対応)	・中心拠点と地域拠点との拠点間の交通アクセス利便性の向上 ・中心拠点のモビリティの向上 ・中心拠点と地域拠点における交通結節点機能の強化
4. 観光事業と連携した交流の創出 (課題2-④に対応)	・観光需要に対応した交通サービスの提供 ・情報発信の強化
5. 経済的に維持が可能で、安定的・持続的な交通サービスの提供 (課題1-①、1-②、1-③、1-④、2-①、2-②、3-②に対応)	・利用状況に応じた運行時間帯や運行本数の適正化 ・乗り継ぎしやすいダイヤ設定や重複ダイヤの調整 ・運賃体系の検討 ・広告収入等、収入源の確保 ・路線バスの維持・支援 ・地域、学校、交通事業者と連携した利用促進とモビリティマネジメント ・新たな技術やサービスの導入検討
6. 誰もが利用しやすい交通体系の構築 (課題1-①、2-②、2-③、3-②に対応)	・移動支援(各交通機関の補助制度) ・鉄道駅及び車両のユニバーサルデザインの推進 ・バス停の環境整備 ・自転車等駐車場の整備(維持) ・多様なツールによる情報提供(公共交通マップや時刻表、バスロケ、オープンデータ) ・新たな技術やサービスを活用した利便性の向上

#### 4) 評価指標（案）の設定

先に設定した目標の進捗状況の評価するため、評価指標を設定します。また、進捗状況の詳細を把握するうえで参考となる指標として参考指標を設定します。

評価指標	評価時期	目標					
		1	2	3	4	5	6
①公共交通機関の1日平均利用者数	毎年	○	○	○	○	○	○
②週1回以上公共交通機関を利用している市民の割合	毎年	○	○	○	○	○	○
③名鉄バス間内・岩倉線及びこまき巡回バス「こまくる」の利用者1人当たり市負担額	毎年	○	○			○	

参考指標	評価時期	目標					
		1	2	3	4	5	6
④こまき巡回バス「こまくる」の1日平均利用者数	毎年	○	○	○	○	○	○
⑤名鉄バス間内・岩倉線の1日平均利用者数	毎年		○			○	
⑥中心拠点内の鉄道駅・バス停の1日平均利用者数	毎年	○	○	○			
⑦地域拠点内の鉄道駅・バス停の1日平均利用者数	毎年	○	○	○			
⑧観光施設の最寄り鉄道駅・バス停の1日平均利用者数	毎年				○		
⑨過去1か月以内に公共交通機関を利用したことがある市民の割合	毎年					○	
⑩多様な分野や主体が連携した取り組み件数	毎年				○	○	
⑪バス停の環境整備数（累計）	毎年			○			○